

とらこ(株) 代表取締役

山本将人さん

明日へ向かって駆ける

農業法人の経営者は語る

「安全・安心な野菜を生産現場から食卓へ届けたい」と話すのは、八幡市のとらこ(株)代表取締役の山本将人さん(34)。石清水(いわしみず)八幡宮のお膝元である同市で、2018年3月に法人を設立した。

山本さんは農業大学校を卒業後、地元農家で研修。近くの農地を借り受けて10年間、個人経営していたが、人を雇う環境を整えるため3年前に起業した。

法人では、ブランド京野菜「九条ねぎ」を中心に、夏は黒エダマメ、冬は葉物類と、その時期に一番おいしい野菜を食べてもらえるよう、季節に応じた作物に取り組んでいる。

現在は同市、久御山町、宇治市、

「九条ねぎ」拡販へ工夫



▲「九条ねぎ」の畑で情熱を語る山本さん

山城町、京田辺市といった山城管内の他、南丹市へも範囲を広げ、9畝の畑を借り受けて栽培する。「九条ねぎ」は、JA京都やましろのネギパックセンターやネギカットセンターにも出荷。グローバル農業生産工程管理(GGAP)を今年8月に取得し、さらに価値の向上を図っている。

これまではJA出荷に加え、飲

食店など業務用にも出荷していたが、新型コロナウイルス感染拡大による飲食店の営業自粛で、出荷が落ち込んだ。

このことを受け、これからはB to C(企業が一般消費者を対象に行うビジネス形態)の商売を考える必要があると思いい、昨年12月にテイクアウト専門店「Negiyaki TIGER」を開店。

法人で栽培した「九条ねぎ」をたっぷり使ったメニューを提供する。さらに、栽培したサツマイモを使った焼き芋の移動販売なども取り入れたいと考えている。

「人とのつながりを生かして新しいアイデアを教えてもらったり、ユーチューブなどの動画を研究したりして、いろいろな取り組みを自分なりに考え、経営に取り入れていきたい」と山本さんは話す。

「これからは、時代に合った法人経営をしていかないと、生き残ることはできない。コロナ禍を克服していくため、良いと思うことはどんどん取り入れ、法人の経営につなげていきたい」と今後の方針を語った。

法人所在地 八幡市戸津中代25の1。(電) 075(286) 3928。

■法人概要 2018年3月設立。役員1人、社員6人、パート15人、技能実習生6人。経営面積 9畝(うちハウス栽培1畝)。テイクアウト専門店「Negiyaki TIGER」(電) 075(203) 6553、営業時間 11時~午後6時。定休日 水曜。